



大洲市

No.133 2016年 2月号

社協だより

編集/発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>
大洲市協 検索



赤い羽根 共同募金



平成27年度も赤い羽根共同募金は、たくさんの方のご協力をいただき、募金額は8,793,842円(12月11日現在)となりました。皆さまから寄せられた寄付金は、地域のお年寄りや子どもたち、障がい者等助けを必要とされている方を対象に、地域福祉推進のために使われます。



市民のつどいではボーイスカウトの子どもたちの「ご協力よろしくお願いします!」の元気な声が響いていました!



オズメッセ前とアクトピア大洲前において、肱北保育所・喜多保育所の園児たちが一生懸命協力を呼びかけてくれました。

～福祉教育～ 喜多小学校6年生 福祉施設において交流会



喜多小学校6年生が市内福祉施設で交流活動を行いました。これは、総合的な学習の時間を活用し、「心のバリアフリー」をテーマに、いろいろな考え方や生き方があることを理解し、ともに生きていこうという実践的態度を育てることを目的に行われています。6年生は福祉体験学習やレクリエーション講座の事前学習を経て、施設での交流活動を行いました。グループごとにクイズや劇、楽器演奏・合唱等の出し物を行ったり、手作りの各種レクリエーション道具でそれぞれ交流をしたり、お話タイムではソフトタッチをしながらの会話ができており利用者の笑顔もひとしおでした。



平成27年度
ふれあい・いきいきサロン
お世話人交流会 開催

講師 木野本忠志先生



平成二十七年十一月二十日(金)から十二月十五日(火)の期間の内五日間、市内五会場において、「ふれあい・いきいきサロンお世話人交流会」を開催しました。

今年の交流会は、「身体の歪みを整えて！元気に過ごす方法」をテーマに木野本ストリートカイロプラクティック代表 木野本忠志先生を講師にお迎えし、サロンで活用できる全身体操をご指導いただきました。先生は、大洲と松山で治療院を開業され、大洲・松山・八幡浜で健康体操を実施しておられます。大洲市内で活動しているサロンをお世話されている地域のボランティアさんが気軽に出来る『座って・立って・寝て』体操を紹介していただきました。

身体には大切なところが多くあり、足の筋力が衰えてくると、内臓の働きや脳の働きも悪くなります。歩けなくなると脳にも刺激が

行きにくいいため、認知症の恐れも出てきます。そこで、下半身をメインに鍛える方法を紹介してもらいました。そして体操の時には、意識して呼吸を深くすることによりストレッチ効果が倍増し、内蔵が元気になり病気の予防にもつながるそうです。毎身体操すること

で、自分の身体を自分で守り、介護や医療に頼らない人生を送ることが出来たら良いとのことでした。

久米会場 (11月20日)



また、参加者はサロンで行う時の注意点を先生に質問しながら「なるほど！自分たちだけでもサロンで認知症や骨粗しょう症の予防ができそうだ」と話をされていました。そして「私たちにも出来る体操で勉強になった」「気持ち良かった」「身体の隅々まで伸びきった感じがして良かった」「サロンに持ち帰ってみんなでやりたい」等の意見が出ていました。

日頃から、心や身体をリフレッシュ

新谷会場 (12月2日)



シユさせ、健康を得ることにつなげてくれるこれらの体操を、各サロンにも取り入れていただけたらと思います。

大洲市社会福祉協議会は、今後もお世話人交流会等を通して、ふれあい・いきいきサロンの活動が地域で楽しく継続していけるよう応援していきたいと思っています。

サロンについてのご質問、ご要望等がございましたら、大洲市社会福祉協議会まで気軽にお問い合わせください。

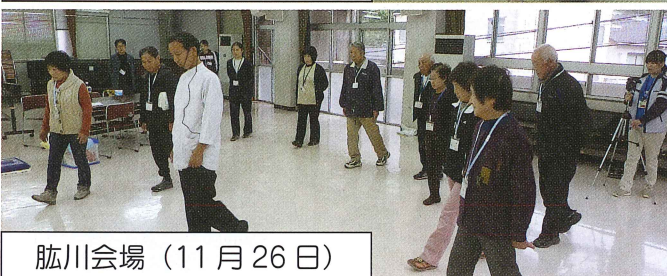
社会福祉協議会

地域福祉係
☎ 23・0313

長浜会場 (11月24日)



肱川会場 (11月26日)



総合福祉センター (12月15日)

まごころのおくりもの 11 月分

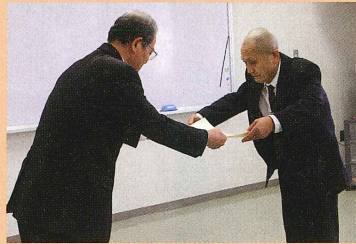
金銭の部 (一般分)		
河 野 龍 昌 様	春 賀	
(指定分)		
《肱南地区社協へ》		
河 野 龍 昌 様	春 賀	
《久米地区社協へ》		
河 野 龍 昌 様	春 賀	
《喜多地区社協へ》		
大洲市ソフトボール協会		
会長 石田彰 様	田 口	
松 田 宗 治 様	田 口	
《平野地区社協へ》		
山 本 栄 治 様	平野町	
《南久米地区社協へ》		
栗 田 幾 敏 様	黒 木	
《菅田地区社協へ》		
二 宮 康 寿 様	菅田町	
大竹獅子保存会		
会長 齋藤邦男様	菅田町	
《大川保健福祉協議会へ》		
萬 願 寺 正 様	成 能	
《柳沢地区社協へ》		
本 明 敏 則 様	田 処	
《新谷地区社協へ》		
菊 池 齊 様	新谷町	
《上須戒地区社協へ》		
梶 谷 博 昭 様	上須戒	
《三善地区社協へ》		
河 野 龍 昌 様	春 賀	
太 田 千 鶴 様	春 賀	
前 川 満 敏 様	春 賀	
《肱川地区社協へ》		
上 田 壽 義 様	内子町	
《特別養護老人ホーム かわかみ荘様へ》		
草 莽 の 一 虫 様	大洲市	
《特別養護老人ホーム とみす寮様へ》		
二 宮 由 美 子 様	松山市	
物品の部		
《大洲市社会福祉協議会 デイサービス東大洲へ》		
清 家 ミヨ子 様	平野町	
車椅子 1 台		
オムツ等介護用品 一式		

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

受賞おめでとうございます！

平成 27 年 11 月 20 日 (金)、日比谷公会堂 (東京都) にて開催された「平成 27 年度全国社会福祉大会」(主催：厚生労働省、全国社会福祉協議会、中央共同募金会)において、木之本安正さん (長浜町) が中央共同募金会会長表彰<奉仕功労者>を受賞されました。それに伴い、平成 27 年 12 月 9 日 (水)、大洲市総合福祉センターにおいて、木之本さんへの表彰状伝達式が執り行われました。

心よりお祝い申し上げます。



ふれあい・いきいきサロン新規登録について

ふれあい・いきいきサロンとは、子育て中のお母さんや高齢者、障がい者が気軽に身近な集会所等に出かけ、仲間とおしゃべりなどして楽しい時間を過ごす活動です。現在、大洲市内では 116 か所のサロンが活動しています。閉じこもり予防や健康維持に大変効果がある活動とされており、関心がある、またはすでにこのような活動をしているが、登録をしていないという方等は、ぜひ大洲市社会福祉協議会まで、気軽にご相談ください。

大洲市社会福祉協議会 地域福祉係 電話 23-0313

俳句ひろば

宇宙へと行く世や鳥の渡りゆく

中野 輝信

評

世は移り、人類は宇宙へと行くようになりました。高くを飛ぶ鳥に思いを寄せる作者です。

こき母の笑顔しのぼる菊人形

川本 ヨシ子

評

菊の花や葉で細工した菊人形。いつも笑顔であった母親の顔だとして母堂をしのばれているのでしょう。

小春日のうれしいひと日なりかな

菅野 友子

評

陰暦十月。暖かで春に似ているので小春とか小春空、小春日和といえます。確かに作者の云われるようにうれしい一日です。

小春日や子に会ふための服欲しき

平田 幸子

評

久々に会う子にせめて新しい服を着て元気でいるよと安心させたいのです。

白椿泣いてはならぬ別れなり

鎌田 幸子

評

年をとつての別れは、何時また会つ事ができるかと辛いものです。

荊荊とせまりくる冬肌の冷

宮崎 正雄

評

年を重ねると寒さは応えまです。上五の俳句とに作者の気持ち充分出ています。

以上の六句はサポートシステム龍星の俳句会からいただきました。

いい孫に笑顔もらう秋うらら

鶴岡 エリ子

評

作者は九十六歳の方、子、孫、ひい孫と受けつがれる命。強い絆で結ばれています。ひい孫さんの笑みいつばいの顔が見えて来ます。

■このコーナーは、白岩チツ子先生に担当していただいております。一般・施設・学生さんからの応募、大歓迎です。みなさんからの便りお待ちしております。

問い合わせ先

大洲市社会福祉協議会
地域福祉係まで

☎ 23-0323
F 23-0295



手話スピーチコンテスト
最優秀賞受賞
長浜中学校
三年 坂本梨帆さん

平成二十七年十一月十四日、中部学院大学(岐阜県各務原市)において、第二十四回中部手話スピーチコンテスト(聴者・聴覚障がい者の共生が実現できる社会を目指し、手話の普及と聴覚障がい者福祉の推進を目的)が開催され「こはの力」をテーマに手話発表(内容・表情・技術で審査をした坂本さんが、見事最優秀賞を獲得しました。おめでとございしました。以下インタビューの内容です。

★コンテストに応募した理由は?

★知り合いの先輩が手話スピーチコンテスト全国大会の出場経験があり、あこがれていたこと、そして勉強になるし、自信もつくと思ひ応募しました。

★手話に興味を持ったきっかけは?

★小学校五年生の時に、知り合いの家族のところへ稲刈りに行った時、その家族に耳が聞こえない子どもさんがいました。その子どもさんとお母さんが手と手で話をしてるのを見たこと、そして、その子どもさんが空を指して「鳥」という手話表現をした時にわからず「話しかけてもらったのに返すことができない」というもどかしい思いをしたことが、手話に興味を持ったきっかけです。それから、手話の本を買ったり、手話のテレビを見たりしていました。

中学校一年生の春、学校で生徒や先生が詩を持ち寄り、それをつなぎ合わせて歌詞にして、曲をつけて人権ソングを作成。そして完成した人権ソングにつける手話表現を先生から依頼された時、大役にも関わらず嬉しかったのですが、どのように練習を進めていったのですか?

★手話奉仕員養成講座(入門・基礎編全三十回)で勉強し、人権ソングの手話表現は講座の先生に丁寧なアドバイスをもらい覚えて帰り、各クラスの代表十名程度に伝え、みんなに広めてもらうという方法で伝えていました。

★チャレンジしてみたいこと・将来の夢は?

★平成二十九年えひめ国体・障害者スポーツ大会の手話での情報支援ボランティアをしてみたいのですが、年齢制限があるので、運営ボランティアとして参加したいです。夢は、手話通訳士の資格を持った支援学校の先生です。

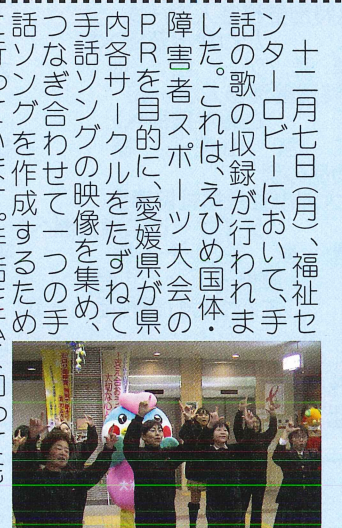
★小・中学生へのメッセージをお願いします!

★まちで聴覚障がい等を持つ方に対しての偏見を感じることはありません。自分と違うから、差別するのはなく、「コミュニケーションの一つとして手と手で会話をしているんだな」と見守ってほしいです。そして、これから手話が広まっていくにつれて、違いがあってもそれを認め合い共に生きていくことの大切さを考えてほしいと思います。

★最後に:(スピーチ一部引用)

★十二月の人権集会で全校で披露した人権ソング発表は拍手がわきおこり、大成功に終わりました。終わった後、先生の「手話を担当してくれてありがとう。よかったよ」と思いました。このように「こはの力」の気持ちを持てます。私は、手話は英語などの外国語と同じ「二つの言語」だと思います。まだまだ現代社会に手話は広がっていないけれど、広げていけるように貢献したいです。誰もが過ごしやすいバリアフリーなまちをつくることも手話奉仕員養成講座を修了した者としての役目だと考えています。「手話は一つの言語」「こはの力」は素晴らしい「これらのことを忘れずにこれからも頑張っていきたいです」。

手話サークル「ドリーム」(大洲市)啓発活動!



十二月七日(月)、福祉センターロビーにおいて、手話の歌の収録が行われました。これは、えひめ国体・障害者スポーツ大会のPRを目的に、愛媛県が県内各サークルをたずねて手話ソングの映像を集め、つなぎ合わせて一つの手話ソングを作成するために行っています。手話を広く知ってもらうために、大洲市の手話サークル「ドリーム」が、えひめ国体イメージソング「えがおは君のためにある」を手話表現しました。

そして十二月十二日(土)、アクトピア大洲二階において、手話をたくさんの方に知ってもらいたいという手話サークル「ドリーム」による手話の歌やゲーム等の手話啓発イベントが開催されました。

今後、えひめ国体に向けて手話や要約筆記等による情報支援ボランティアが必要とされていますが、えひめ国体に関わらず、開催予定講座等に興味を持たれた方は、ぜひ気軽に相談ください。

地域福祉係 ☎0313



心 配 ご と 相 談 所 案 内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】毎週月・水 【介護相談】毎週金 【弁護士法律相談※要電話予約】毎月第1・3火(2月2日と2月16日) 【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火および毎週木 大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※祝日を除く
長 浜 支 所	2月26日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
肱 川 支 所	2月 5日(金) 大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
河 辺 支 所	2月 9日(火) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
問い合わせ先 本所 TEL23-0313(代表、弁護士相談予約) TEL23-5629(相談室直通) 長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510	